

—Special Section on Recent Progress in
Verified Numerical Computations—

We are pleased to announce the special section of IEICE's journal, "Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE" to be published in January 2013. The major part of this issue will consist of the special section focusing on recent progress in the field of verified numerical computations. The topics of interest within the scope of this Special Section include, but are not limited to, the following areas:

- Computer-assisted proofs for nonlinear problems using verified numerical computations
- Verified numerical linear algebra as the base of treating nonlinear problems
- Verified numerical computations for dynamical systems
- Mathematics for verified numerical computations
- Applications of verified numerical computations in science and engineering

The submitted papers will be handled by the Editorial Committee of the Special Section, and peer-reviewed by anonymous referees. The deadline of the paper submission is **April 10, 2012**. Prospective authors are requested to follow carefully the submission process described below:

- (1) Submit a paper using the IEICE Web site (https://review.ieice.org/regist_common_e.aspx?society=NOLTA).

Authors should choose "[Special-EN] Verified Numerical Computations" as a "Type of Issue (Section)/Transactions" on the line screen. Do not choose "[Regular-EN]".

- (2) Send "Copyright Transfer and Page Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by E-mail, FAX or postal mail to the following address:

Katsuhisa OZAKI, College of Systems Engineering and Science, Shibaura Institute of Technology
307 Fukasaku, Minuma-ku, Saitama-shi, Saitama 337-8570, Japan

E-mail: ozaki@sic.shibaura-it.ac.jp

FAX: +81-48-720-6080 (please attach a cover sheet indicating the sender's name)

Please do not forget to send "Copyright Transfer and Article Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by **April 10, 2012**. We cannot start the review process without them, even if we receive the manuscript. For additional guidelines on manuscript preparation, please visit the following web site: <http://www.nolta.ieice.org/authors.html>

Please note that if the paper is accepted, then the authors are requested to pay for the article charges covering partial costs of publications. The article charges cannot be waived.

The article charges until 30 pages:

One of the authors is a member of IEICE:	60,000 JPY
Otherwise:	65,000 JPY

[IMPORTANT NOTICE]

Both members and nonmembers of IEICE are invited to submit manuscript. However, we recommend that the authors unaffiliated with IEICE apply for membership: <http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html>

Editorial Committee of the Special Section

Guest Editors

Zin ARAI (Hokkaido University)

Takeshi OGITA (Tokyo Woman's Christian University)

Yoshitaka WATANABE (Kyushu University)

Secretaries of the Special Section

Kenta KOBAYASHI (Hitotsubashi University)

Katsuhisa OZAKI (Shibaura Institute of Technology)

Takashi HISAKADO (Kyoto University)

—ネットワーク仮想化及びコンピューティング
とネットワークの融合プラットフォーム

(英文論文誌 B) 論文募集—

ネットワーク仮想化及びコンピューティングと
ネットワークの融合プラットフォーム
小特集編集委員会

インターネットを代表とする情報通信システムは、社会・経済活動を支える必要不可欠な社会インフラになりつつあり、ユーザの多様なニーズに迅速に応える柔軟性のあるサービスの提供が望まれています。また、コンピューティングとネットワークの融合が急速に進展し、コンピュータ・ネットワーク・ストレージ全ての資源を統合してダイナミックかつエラスティックに活用する利便性が注目を浴びつつあります。進化しつつあるネットワーク仮想化はそのようなインフラを実現する鍵の技術であり、カスタマイズした多様なネットワークの共存、最新機能の迅速な導入、資源の独立化により相互干渉しないプログラマブルなネットワーク、巨大化する情報通信システムの安定した運用管理、クラウドコンピューティングのネットワークへの伸展、及びセキュアなサービス基盤の提供が期待されています。そこで、多様なサービスネットワークを論理的に実現するネットワーク仮想化、及び新機能を迅速に導入するコンピューティングとネットワークの融合プラットフォーム技術等の研究開発を促進するため、本小特集号(2013年1月号掲載)を企画致します。

1. 対象分野

ネットワーク仮想化及びコンピューティングとネットワークの融合プラットフォームに関する以下の分野を主な対象とします。

- 多様なカスタマイズネットワークを実現するネットワーク仮想化アーキテクチャ
- ネットワーク仮想化をベースとした革新的アプリケーション
- ネットワーキング・コンピューティングの融合
- マルチレイヤ統合制御、及びネットワーク仮想化運用管理技術
- ネットワーク仮想化におけるリソースモニタリング技術
- ネットワーク仮想化をベースとしたデータセンターネットワーク技術
- オペレーティングシステム・ネットワーク仮想化技術
- ネットワーク仮想化、セキュアサービス提供におけるセキュリティ技術

- ・これら上記技術に関連するテストベッド関連研究、実験成果等

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり8ページ、レターの場合は刷り上がり2ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は4ページです。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuj_i_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合があります。

既存技術とは大きく異なる斬新なアイデア・技術に関する多くの論文を募集します。今回はアイデアを中心に論述したポジションペーパーをレター形式にて募集します(扱い種別はLETTERとなります)ので、多数の論文投稿をよろしくお願い致します。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で [Special-EB] Network Virtualization, and Fusion Platform of Computing and Networking を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。ポジションペーパー投稿では“Type of Manuscript”で [Letter] を選択し、投稿ページ最後にあるコメント欄に「ポジションペーパー投稿」と明記して下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日である2012年5月11日(金)までに下記送付先へ電子メール添付、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成24年5月11日(金) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

鈴木敏明

日立製作所中央研究所ネットワークシステム研究部

〒244-0817 横浜市戸塚区吉田町292番地

TEL [045] 860-2177, E-mail: nv+paper_1@mail.ieice.org

6. 小特集編集委員会

委員長 中尾彰宏(東大)

幹事 鈴木敏明(日立), 原井洋明(NICT)

委員 飯田勝吉(東工大), 石原智宏(富士通研), 工藤知宏(産総研), 後藤滋樹(早大), 佐藤一郎(NII), 重野寛(慶大), 寺岡文男(慶大), 中内清秀(NICT), 西原基夫(NEC), 長谷川亨(KDDI研), 森達哉(NTT), 村田正幸(阪大)

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので

御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——通信技術の進展を支える学生論文特集号

(和文論文誌B) 論文募集——

通信技術の進展を支える学生論文特集編集委員会

日々高度化する通信技術の分野で、日本が今後も高い技術力を維持し世界をけん引していく存在となるためには、将来の活躍が期待できる学生を多く輩出し、優れた研究者・技術者となるよう育てていくことが重要と考えています。そこで和文論文誌では、学生等の若手研究者に活躍の場を提供し、人的基盤の拡充・充実・強化の一助となるべく、学生が執筆した論文の特集号を発行します。

対象とする分野は通信技術全般とし、論文の筆頭著者を学生または学生のときの成果に限定し、年度内に発行(2013年2月号)することで、研究開発活動をより円滑に継続できることを配慮しています。博士課程学生、修士課程学生、学部生、更には社会人博士課程等の学生の皆様からの積極的な御投稿をお待ちしております。特に、優れた研究成果が得られているものの論文投稿の経験がない方、あるいは少ない方々には、是非、この機会を利用し論文発表されることを期待致します。

1. 対象分野

(和文論文誌Bが対象としている全技術分野)

基礎理論、電子通信エネルギー、伝送方式・機器、光ファイバ、光ファイバ伝送、ネットワークシステム、ネットワーク、インターネット、ネットワーク管理・オペレーション、アンテナ・伝搬、電磁環境・EMC、無線通信技術、地上無線通信、放送技術、衛星通信、計測、探査、航行・誘導・制御方式、宇宙利用システム、マルチメディアシステム

2. 対象論文

大学等に籍を置く学生(大学院生・社会人学生を含む)が筆頭著者である論文に限ります。ただし、投稿時点で大学等を卒業若しくは修了していたとしても学生のときに行った研究であれば受け付けることとします。

3. 論文の執筆と取扱い

・論文の執筆、査読の取扱いは一般論文と同一とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。

・論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。

・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

4. 主なスケジュール

・投稿締切: 2012年5月24日(木) 厳守

・初回判定通知: 2012年7月中旬を予定

・最終判定通知: 2012年10月中旬を予定

・発行月: 2013年2月号

5. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

【注意】登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール(Notification of completion for Temporary

Registration) が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除、電子投稿(原稿のアップロード)画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

郵送物送付先:

(社)電子情報通信学会出版事業部ソサイエティ誌出版課
〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館
郵送時、封筒に「学生論文特集」と朱記して下さい。

6. 特集編集委員会

委員長 高橋応明(千葉大)
幹事 佐波孝彦(千葉工大)
委員 通信ソサイエティ和文論文誌編集委員

7. 問合せ先

佐波孝彦(千葉工業大学情報工学科)
TEL [047] 478-0532, FAX [047] 478-0549
E-mail: saba@m.ieice.org

——進化するマイクロ波・ミリ波フォトニクス 技術小特集号(英文論文誌C)論文募集——

進化するマイクロ波・ミリ波フォトニクス 技術小特集編集委員会

マイクロ波・ミリ波技術とフォトニクス技術を融合した新しい技術分野に関する研究が内外で活発化しています。すなわち、これまで無線通信を中心として研究開発が進められてきたマイクロ波・ミリ波技術と、光ファイバ通信を中核とするフォトニクス技術とを有機的に結合することによって、従来の概念を越えた新たな段階の技術分野が形成されつつあります。本小特集(平成25年2月号)では、平成24年4月に開催される Asia Pacific Microwave Photonics Conference (APMP 2012) で発表された論文を中心とし、更に、その他にも広く本分野の最新技術の論文を募集するものです。奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

マイクロ波・ミリ波帯光デバイス/光デバイスによるマイクロ波・ミリ波の発生と制御/光制御マイクロ波・ミリ波デバイスと回路/光によるマイクロ波・ミリ波計測技術/高速光A-D/D-A変換/光波及び電磁波バンドギャップ構造と応用技術/テラヘルツ波並びに応用技術/光マイクロ波のためのMEMS技術/光ファイバを用いたマイクロ波・ミリ波の伝送/光無線応用技術/光制御フェーズドアレーアンテナ/新しい変調方式による光伝送システム/光マイクロ波技術の宇宙応用/光無線システムのセキュリティ技術/高速光伝送システムのモニタリング技術/光ラベル処理技術/光技術の新しい無線通信技術への応用/モバイル・バックホールとしての光アクセスネットワーク/マイクロ波・ミリ波技術の安全・安心なシステムへの応用

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とし、原則として論文は刷り上がり8ページ以内、ブリーフペーパーは4ページ以内(厳守)とします。執筆の詳細は、Information for Authors (<http://www.ieice.org>)

org/eng/shiori/mokuji_es.html)でも御覧になれます)を御参照下さい。なお、査読後の再提出期間は短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。

投稿は本会電子投稿システム(https://review.ieice.org/regist_e.aspx)による電子投稿で受け付けます。上記Webでの御登録の際、“Type of Issue (Section)/Transactions”は“[Special-EC] Microwave and Millimeter-Wave Photonics Technology”を選択して下さい。“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”は下記まで電子メール添付(推奨)、FAX、または郵送のいずれかの方法で送付して下さい。

3. 論文投稿締切日 平成24年5月31日(木)必着

4. 書類送付先及び問合せ先

幹事 戸田裕之
同志社大学理工学部電子工学科
〒610-0321 京田辺市多々羅都谷1-3
TEL [0774] 65-6356, FAX [0774] 65-6801
E-mail: htoda@mail.doshisha.ac.jp

5. 小特集編集委員会

ゲストエディタ 塚本勝俊(阪大)
幹事 戸田裕之(同志社大)、荘司洋三(NICT)
委員 秋山智浩(三菱電機)、岩月勝美(NTT)、河合正(兵庫県立大)、川西哲也(NICT)、熊本和夫(阪工大)、黒川 悟(AIST)、関根徳彦(NICT)、生岩量久(広島市大)、堀内幸夫(KDDI研)、村田博司(阪大)、若森和彦(浜松ホトニクス)

6. 小特集の海外配布

本小特集号は、該当分野の海外キーパーソン50名に送付される予定です。

7. 重要なお知らせ

投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。

——医用画像特集号(和文論文誌D)論文募集——

医用画像特集編集委員会

近年の医用画像の撮像技術は飛躍的な進歩を続けています。それに伴い新しい処理技術の研究開発の必要性がますます増大しています。医用画像は、基礎医学、臨床医学、医学教育に大きな貢献をなしており、医学、生物学、工学、情報学の複数にわたる研究領域を束ねた新しい学問体系の創生が望まれています。本会において医用画像関連の特集号は平成20年7月に続き4回目の企画となり、その間に多くの新しい研究開発の展開が進んでいます。今回、英文誌(Information and Systems D)と合同で特集号を平成25年4月に発行することを企画します。撮像・計測方式、画像再構成、画像認識、グラフィックス、高性能計算、計算解剖学などの基盤技術のみならず、臨床応用システム、医療情報システム、生体シミュレーションなど関連諸分野との境界領域に関するテーマも含め、基礎から応用までの幅広いテーマを対象としたいと考えています。奮って投稿下さいますよう御案内します。

1. 対象分野

以下のテーマに限らず、医用画像に広く関連する論文の投稿を

お願いします。

撮像方式 (CT, MRI, PET・SPECT, 超音波, 光など), 画像再構成法, 画像解析 (位置合わせ, 領域抽出など), 画像の変換・強調・圧縮, 画像評価, グラフィックス・仮想現実感・複合現実感, 機能画像の生成・処理, コンピュータ支援画像診断技術とその応用, コンピュータ外科, 画像情報通信システム (PACS, HIS, RIS, 遠隔診断など), 画像の高性能計算, ヒューマンインタフェース, 生体シミュレーション, 計算解剖学の基礎と応用, 医学教育応用など。

2. 論文の執筆と取扱い

- 論文 (通常の一般論文), レター, 及びサーベイ論文を募集します。それぞれのページ数など詳細な規定に関しては「和文論文誌投稿のしおり」http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html を参照下さい。英文誌は http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html を参照下さい。
- 査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ了承下さい。

3. 主なスケジュール

- 論文投稿締切 平成 24 年 6 月 15 日 (金) 厳守
- 最終判定予定 平成 24 年 11 月末頃
- 発行予定 平成 25 年 4 月号

4. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし, 投稿原稿の PDF ファイルと編集用電子ファイルを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし, 投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト, 著作権譲渡書, 投稿原稿, 編集用電子ファイルを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

【送付先】

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
(社)電子情報通信学会出版事業部ソサイエティ誌出版課
FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-dl@ieice.org
※郵送の際は, 封筒に「医用画像特集号」を朱記して下さい。

5. 特集編集委員会

委員長 藤田広志 (岐阜大)
副委員長 目加田慶人 (中京大)
幹事 菅 幹生 (千葉大), 原口 亮 (国立循環器病センター), 諸岡健一 (九大)
委員 有村秀孝 (九大), 小尾高史 (東工大), 加野亜紀子 (コニカミノルタエムジー), 河田佳樹 (徳島大), 北坂孝幸 (愛知工大), 木村裕一 (放医研), 佐藤哲大 (奈良先端大), 清水昭伸 (東京農工大), 庄野 逸 (電通大), 濱本和彦 (東海大), 原 武史 (岐阜大), 本谷秀堅 (名工大), 増谷佳孝 (東大), 森 健策 (名大), 山口雅浩 (東工大)

6. 問合せ先

目加田慶人 中京大学情報理工学部
TEL [0565] 46-6909, FAX [0565] 46-1299
E-mail: y-mekada@sist.chukyo-u.ac.jp
菅 幹生 千葉大学大学院工学研究科人工システム科学専攻
TEL & FAX [043] 290-3083
E-mail: mikio.suga@faculty.chiba-u.jp

論文特集号原稿募集

——医用画像小特集号

(英文論文誌 D) 論文募集——

医用画像小特集編集委員会

X線撮影が医療に導入されて以来, 医用画像は, 基礎医学, 臨床医学, 医学教育に大きく貢献しています。近年, 医用画像の撮像技術や計算機の処理能力は, 飛躍的な進歩を続けています。それに伴い, 新しい医用画像処理技術の研究開発の必要性がますます増大しています。また, 医用画像処理は, 医学, 生物学, 工学, 情報学の複数の研究領域にわたり, これらの領域を束ねた新しい学問体系の創生が望まれています。そこで, 今後の医用画像処理に関する研究開発の一層の促進を目的として, 今回, 電子情報通信学会和文論文誌 D と合同で本小特集号 (平成 25 年 4 月号掲載) を企画致します。撮像・計測方式, 画像再構成, 画像認識, グラフィックス, 高性能計算, 計算解剖学などの基盤技術のみならず, 臨床応用システム, 医療情報システム, 生体シミュレーションなど関連諸分野との境界領域に関するテーマも含め, 基礎から応用までの幅広いテーマを対象としたいと考えています。

1. 対象分野

以下のテーマに限らず, 医用画像に広く関連する論文の投稿をお願いします。

- 撮像方式 (CT, MRI, PET・SPECT, 超音波, 光など), 画像再構成法
- 画像解析 (位置合わせ, 領域抽出など), 画像の変換・強調・圧縮, 画像評価
- グラフィックス・仮想現実感・複合現実感, 機能画像の生成・処理
- コンピュータ支援画像診断技術とその応用, コンピュータ外科
- 画像情報通信システム (PACS, HIS, RIS, 遠隔診断など), 画像の高性能計算
- ヒューマンインタフェース, 生体シミュレーション, 計算解剖学の基礎と応用
- 医学教育応用, など

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は, 原則として, 論文の場合は刷り上がり 8 ページ, レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると, 掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい。初期投稿時に, 編集可能な論文本体 (TeX/Word), 図, 著者の写真, biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず “Type of Issue (Section)/Category of Transactions” で [Special-ED] Medical Imaging を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

手順 2: 登録時に生成される “Copyright Transfer and Page

Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成 24 年 6 月 15 日 (金) 必着

5. 送付及び問合せ先

諸岡健一

九州大学大学院システム情報科学研究院

〒812-0395 福岡市西区元岡 744 番地

TEL & FAX [092] 802-3615

E-mail: morooka@ait.kyushu-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 藤田広志 (岐阜大)

副委員長 目加田慶人 (中京大)

幹事 菅 幹生 (千葉大), 原口 亮 (国立循環器病センター), 諸岡健一 (九大)

委員 有村秀孝 (九大), 小尾高史 (東工大), 加野亜紀子 (コニカミノルタエムジー), 河田佳樹 (徳島大), 北坂孝幸 (愛知工大), 木村裕一 (放医研), 佐藤哲大 (奈良先端大), 清水昭伸 (東京農工大), 庄野 逸 (電通大), 濱本和彦 (東海大), 原 武史 (岐阜大),

本谷秀堅 (名工大), 増谷佳孝 (東大), 森 健策 (名大), 山口雅浩 (東工大)

アドバイザーメンバー Jong Hyo Kim (Seoul National University; Korea), Jong Beom Ra (KAIST; Korea), Ruey-Feng Chang (National Taiwan University; Taiwan), Pai-Chi Li (National Taiwan University; Taiwan), Tianzi Jiang (The Chinese Academy of Sciences; China), David Zhang (The Hong Kong Polytechnic University; China), Wieslaw Nowinski (Agency for Science, Technology & Research; Singapore), Yoshinobu Sato (Osaka University; Japan)

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷 50 部含む) が必要となります。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けられないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html

複製される方へ

(社)電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複製を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複製については、当該企業等法人が社団法人日本複製権センター ((社)学術著作権協会が社内利用目的複製に関する権利を再委託している団体) と包括複製許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません。(社外頒布目的の複製については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複製以外の許諾 (著作物の引用、転載、翻訳等) に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> (社)電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Reproduction Rights Organizations (RROs) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619